

2020年11月25日 10面

文字サイズ 小 中 大 ブックマーク 印刷

前田道路中部支店／横須賀小学校（愛知県東海市）の総合学習に講師派遣



愛知県の東海市立横須賀小学校は20日、6年生の総合学習「ぼくの夢・わたしの夢」で前田道路中部支店の社員をゲストティーチャーに招き授業を行った＝写真。渡辺智久管理部長が講師、西名古屋営業所事務課の山崎宏昭氏がアシスタントを務め、仕事の内容ややりがい、将来のために今やるべきことなどについて、自身の経験を踏まえ子どもたちに分かりやすく説明した。

同校は、子どもたちが夢と希望を持ち将来に向け努力する心を育むことを目的に、総合学習の中でキャリア教育を行っている。当日は6年生125人が体育館に集合。会社の紹介や陸上競技場などが完成するまでをまとめたビデオを上映した。渡辺部長は「普通の道路だけでなく高速道路や野球場、バスケットコートなども造っています」と話し、道路を造るためには材料の運搬、機械の操作、現場管理、実際に工事をする職人など多くの人が携わっていると説明した。

また、工事が完成した時の達成感、お客さんからの感謝の言葉、地図に残る仕事に携わることができる喜びなどが「仕事のやりがい」だとし、「生きていく上でモチベーションを持つことが大切」と話した。さらに「将来の自分が何をしているか今は分からないと思う。でも、きっとやりたいことは出てくる。夢をかなえるためには知識と経験が必要。そのためにも先生の話をよく聞いてしっかり勉強してください。すべては将来への下積みです」と呼び掛けた。

記事ID：3202011251004

Copyright(C) 日刊建設工業新聞 記事の無断転用を禁じます